現代ビジネス学部

FUJIWARA Akira

PROFILE

職名
現代ビジネス学部
現代マネジメント学科教授

学歴
大阪医科大学大学院医学研究科博士課程修了（1969）

学位
医学博士（大阪医科大学、1969）

所属学会
日本外科学会、日本救急医学会

専門分野
外科

冨士原　彰

ふじわら　あきら

研究課題1 ●救急医学教育と救急医療体制
研究課題2 ●救急疾病対応の実践と教育

業　績

【著書】

『腹部外傷に対する開腹術の適応』／「TODAY'S THERAPY 2002　今日の治療指針」医学書院、2002年、単著。
『高槻市における地域開業医参画型初期小児救急医療体制の現状と問題点』／「日本救急医学会雑誌13⑽」、2002年、共著。
『穿孔性十二指腸潰における術後経口摂取の開始時期の検討―早期経口摂取は安全に行いうるか？―』／「日本腹部救急医学会雑誌22(4)」、2002年、共著。
『BLSとACLS―国際統一化された心肺蘇生法―』／「総合循環器ケア2002サポート号47-50」、2002年、共著。
『ペースメーカー植え込み』／「総合循環器ケア2002サポート号55-56」、2002年、共著。
『ナースが知っておきたいACLSの基礎知識①』／「総合循環器ケア2002(1)」、2002年、共著。
『ナースが知っておきたいACLSの基礎知識②』／「総合循環器ケア2002(2)」、2002年、共著。
『不整脈の診断―ACLSアプローチで不整脈を簡単に理解する―』／「総合循環器ケア2002(3)」、2002年、共著。
『不整脈の心電図所見とACLSを絡めた臨床診断のポイント―徐脈性不整脈のアルゴリズム―』／「総合循環器ケア2002(4)」、2002年、共著。
『急変時の頻脈性不整脈の管理と治療』／「総合循環器ケア2002(5)」、2002年、共著。
『ナースが知っておきたいACLSのまとめ』／「総合循環器ケア2002(6)」、2002年、共著。
『最終回ナースが知っておきたいACLSのまとめ』／「循環器ケアに必要な実践知識を楽しく身につける　総合循環器ケア2002(6)」、2002年、共著。
『日常繁用薬剤によるアナフィラキシーショックについて』／「守口市医師会会報第77号」、2001年、単著。
『三次救急医療施設の現状』／「大阪府医ニュース第2224号」、2001年、単著。
『救急内視鏡検査・治療』／「救急看護の手技＆ケア」、メディカ出版、2001年、単著。
『【救急治療】鈍的外傷・鋭的外傷』／「今日の治療指針2001年度版」、医学書院、2001年、単著。
『Stage operationにて救命し得た胸部大動脈損傷を合併したⅢ b型肝損傷の1例』／「日本救急医学会雑誌」、2001年、共著。
『心肺停止症例に対するPCPSの治療成績』／「蘇生20(2)」、2001年、共著。
『卵巣癌破裂後に発生した急性肺動脈血栓塞栓症の1例』／「日本臨床外科学会雑誌62(11)」、2001年、共著。
『鈍的外傷と鋭的外傷 Blunt Trauma and Injury by Sharp Objects』／「今日の治療指針　わたしはこう治療している　TODAY'S THERAPY 2001」、医学書院、2001年、共著。
『救急看護の手技＆ケア』／「緊急内視鏡検査・治療」、メディカ出版、2002年、共著。
『今日の治療指針2002』／「腹部外傷に対する開腹術の適応」、医学書院、2002年、共著。

【学術論文】

「心停止時における高度な気道確保器具挿入が胸骨圧迫と換気の中断時間に与える影響―大阪千里メディカルラリーにおけるマネキンによる観察研究―」／日本臨床救急医学会雑誌13(4)、2010年、共著。
「Verification of airway management during cardiac arrest: a manikin-based observational study」／The American Journal of Emergency Medicine28(4)、2010年、共著。
「A manikin-based observational study on cardiopulmonary resuscitation skills at the Osaka Senri medical rally」／Resuscitation78(3)、2008年、共著。
「輸液・循環管理指標としての酸素運搬量　第一部：臨床的見地から　第二部：実証実験の結果から」／日本外傷学会雑誌19(3)、2005年、共著。
「高槻市における地域開業医参画型初期小児救急医療体制の現状と問題点」／日本救急医学会雑誌13(10)、2002年、共著。
「外傷性膵・十二指腸損傷の治療指針―自験例33例の検討と欧米論文のreview―」／日本腹部救急医学会雑誌21(8)、2001年、共著。